



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月1日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7240 URL http://www.nok.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鶴 正登
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部 部長 (氏名) 五十嵐 清史 TEL 03-3434-1736
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	559,340	4.7	37,074	37.3	47,960	44.1	29,957	47.3
29年3月期第3四半期	534,419	△9.9	26,997	△40.8	33,281	△37.3	20,331	△39.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 63,507百万円 (71.5%) 29年3月期第3四半期 37,039百万円 (52.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	173.39	—
29年3月期第3四半期	117.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	821,907	509,911	57.2
29年3月期	751,797	455,111	55.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 469,738百万円 29年3月期 418,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年3月期	—	25.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	730,400	2.4	47,000	18.2	57,000	24.7	35,000	28.1	202.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7.「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	173,138,537株	29年3月期	173,138,537株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	236,525株	29年3月期	452,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	172,770,348株	29年3月期3Q	172,505,417株

(注) 期末自己株式数には従業員ESOP信託口が保有する当社株式（平成30年3月期第3四半期 69,900株、平成29年3月期 280,400株）が含まれております。また、従業員ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式数に含めております。（平成30年3月期第3四半期 194,871株、平成29年3月期第3四半期 461,276株）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としての実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資等の経済対策効果や設備投資の増加基調により、景気は緩やかな回復局面が継続しています。海外においては、米国経済は堅調さを維持しており、中国経済は減速に向かいつつありますが安定的に推移しています。

自動車業界は、国内では新型車投入効果の継続と軽自動車の需要回復により好調に推移しています。海外では、北米は乗用車需要減速の傾向が続いていますが、中国では日系各社は市場の伸びを大きく上回り、好調に推移しています。タイでは国内需要が順調に回復し、緩やかながらも回復基調は継続しています。

電子業界は、ハードディスクドライブ、タブレットPCの需要が減少しました。スマートフォンについては、需要は増加しておりますが、成長は鈍化してきております。

事務機業界は、事務機市場の成熟化により、複合機の需要は横這いで推移したものの、プリンターの需要は微減で推移しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「電子機器部品事業」としていた報告セグメントの名称を「電子部品事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

シール事業におきましては、自動車向けについては、国内での需要は好調に推移し、加えて中国での日系車の好調を受けて、販売は増加しました。一般産業機械向けについては、中国を中心とした建機市場の好調に加え、工作機・ロボット市場等も好調に推移した事により、販売は増加しました。

その結果、売上高は2,516億8千8百万円（前年同期比10.0%の増収）となりました。営業利益は、増収により、307億5千万円（前年同期比15.4%の増益）となりました。

電子部品事業におきましては、自動車の電装化に伴い、自動車向けの需要が増加、高機能スマートフォン向けの需要も堅調に推移、ハードディスクドライブ向けのシェアの増加により、販売は増加しました。

その結果、売上高は2,839億3千8百万円（前年同期比2.1%の増収）となりました。営業利益は、増収、原価低減等により、53億5千2百万円（前年同期は13億1千5百万円の営業損失）となりました。

ロール事業におきましては、高機能複合機の在庫調整や繊維関係の販売減等の影響により販売は減少しました。

その結果、売上高は157億2千8百万円（前年同期比9.1%の減収）となりました。営業損益は、販売の減少を受けて人件費・経費等の削減に努めましたが、1千3百万円の損失（前年同期は7億4千1百万円の営業利益）となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業におきましては、売上高は79億8千5百万円（前年同期比21.4%の減収）となりました。営業利益は、品目構成の良化により、9億1千5百万円（前年同期比5.9%の増益）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,593億4千万円（前年同期比4.7%の増収）、営業利益は370億7千4百万円（前年同期比37.3%の増益）、経常利益は479億6千万円（前年同期比44.1%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は299億5千7百万円（前年同期比47.3%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、8,219億7百万円となり、前連結会計年度末対比で701億9百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加、および株価の上昇に伴う投資有価証券の増加によるものです。

負債合計は3,119億9千5百万円となり、前連結会計年度末対比で153億8百万円の増加となりました。これは主に仕入債務の増加に伴う買掛金の増加、および繰延税金負債の増加によるものです。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、為替相場の変動に伴う為替換算調整勘定の増加、およびその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末対比で548億百万円増の5,099億1千1百万円となり、自己資本比率は57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く事業環境等の先行き不透明な状況を鑑み、平成29年11月9日に公表いたしました業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,726	82,294
受取手形及び売掛金	153,667	175,368
たな卸資産	76,097	87,760
その他	18,418	19,920
貸倒引当金	△253	△285
流動資産合計	339,655	365,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	84,081	88,183
機械装置及び運搬具(純額)	102,647	110,280
その他(純額)	57,214	60,677
有形固定資産合計	243,943	259,141
無形固定資産	4,337	4,275
投資その他の資産		
投資有価証券	134,024	163,582
その他	30,053	30,021
貸倒引当金	△215	△172
投資その他の資産合計	163,861	193,432
固定資産合計	412,142	456,849
資産合計	751,797	821,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	60,169	68,518
短期借入金	55,172	55,756
未払法人税等	6,085	4,033
賞与引当金	9,280	5,539
環境対策引当金	500	64
その他	52,852	61,109
流動負債合計	184,060	195,021
固定負債		
長期借入金	17,790	14,762
繰延税金負債	8,887	16,940
債務保証損失引当金	400	400
退職給付に係る負債	81,570	81,003
その他	3,978	3,866
固定負債合計	112,626	116,973
負債合計	296,686	311,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	22,759	22,837
利益剰余金	341,188	362,497
自己株式	△1,157	△451
株主資本合計	386,126	408,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,573	64,125
為替換算調整勘定	9,961	19,879
退職給付に係る調整累計額	△24,995	△22,486
その他の包括利益累計額合計	32,539	61,518
非支配株主持分	36,445	40,173
純資産合計	455,111	509,911
負債純資産合計	751,797	821,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	534,419	559,340
売上原価	447,737	459,071
売上総利益	86,681	100,268
販売費及び一般管理費	59,684	63,194
営業利益	26,997	37,074
営業外収益		
受取配当金	1,874	2,060
持分法による投資利益	3,677	5,246
為替差益	—	3,072
その他	2,927	2,882
営業外収益合計	8,479	13,262
営業外費用		
支払利息	1,531	1,776
為替差損	124	—
その他	538	599
営業外費用合計	2,195	2,375
経常利益	33,281	47,960
特別利益		
固定資産売却益	89	304
その他	14	13
特別利益合計	103	317
特別損失		
固定資産除却損	2,426	2,212
事業構造改善費用	673	307
その他	259	440
特別損失合計	3,360	2,961
税金等調整前四半期純利益	30,024	45,317
法人税等	7,650	12,185
四半期純利益	22,374	33,131
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,043	3,174
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,331	29,957

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	22,374	33,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,697	16,515
為替換算調整勘定	432	9,124
退職給付に係る調整額	3,216	2,322
持分法適用会社に対する持分相当額	△681	2,412
その他の包括利益合計	14,664	30,375
四半期包括利益	37,039	63,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,189	58,936
非支配株主に係る四半期包括利益	2,850	4,570

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	228,870	278,074	17,310	10,163	534,419	—	534,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,218	12	0	200	2,432	(2,432)	—
計	231,089	278,086	17,311	10,363	536,851	(2,432)	534,419
セグメント利益又は 損失(△)	26,637	△1,315	741	864	26,928	69	26,997

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 69百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	251,688	283,938	15,728	7,985	559,340	—	559,340
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,867	12	4	327	2,212	(2,212)	—
計	253,555	283,951	15,733	8,312	561,553	(2,212)	559,340
セグメント利益又は 損失(△)	30,750	5,352	△13	915	37,005	68	37,074

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 68百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

第1四半期連結会計期間より、従来「電子機器部品事業」としていた報告セグメントの名称を「電子部品事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。